

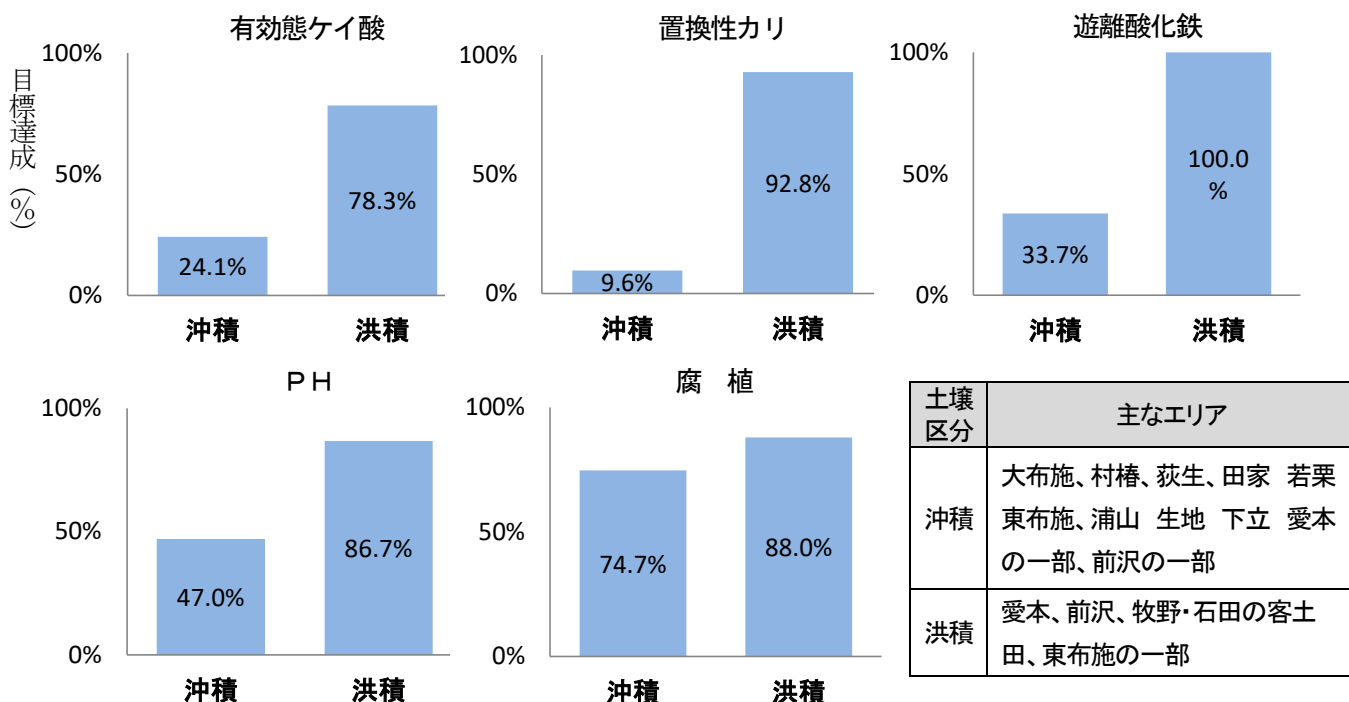
農作業特報

黒部市
黒部市農業技術会議

高品質で美味しい米づくりには、土づくりが不可欠です。
美味しい「黒部米」のために、土への愛情を込めて、
元気な土づくりをお願いします。



1 黒部市内の水田土壌の実態 (調査項目が目標値を満たす割合: H30 調査結果より)



○調査結果から、沖積土壌エリアを中心にケイ酸、カリ、鉄分の不足が目立ちます。
また、pHについても同様に低下しているほ場が多い傾向にあります。
土壌改良資材や有機物を毎年施用し、継続的な土づくりに取り組みましょう。

【こんな症状はでていませんか？】

近年、ごま葉枯病の発生が増加傾向にあり、特に、生育後半に活力低下が見られる場合や秋落ちしやすいほ場での発生が目立ちます。

ごま葉枯病は、ケイ酸、カリ、鉄分などの不足により発生が増加することが知られており、発生の見られたほ場や地域では、土づくり資材を積極的に活用しましょう。



ごま葉枯病の病斑

2 「元気な土づくり」のポイント

○ポイント1：土づくり資材の施用

土壌酸度の矯正や不足養分の補給として → けい酸質資材など土壌改良資材の施用

○ポイント2：有機物の施用

腐植含量の増加、物理性改善のため → 堆肥や発酵鶏糞などの有機物の施用
地力増進作物の活用

○ポイント3：深耕の実施

深耕等による根域の拡大と稲わらの腐熟促進のため → 秋耕と春耕の2回耕起
作土深15cm以上の確保

ポイント1：土づくり資材の施用

土づくり資材の施用で、葉や根を丈夫にし、病気や倒伏に強い稲を作りましょう。

資材名	資材の特徴	10a当り施用量
粒状ケイカル	稲体を丈夫にし、倒伏やいもち病の抵抗性が増し、pH矯正に効果がある資材(ケイ酸30%、アルカリ分45%、苦土4%)	200kg
アサヒニューテツ	秋落ちしやすい砂質浅耕土等の鉄分補給と稲が吸収しやすい珪酸を同時施用する資材(ケイ酸20%、アルカリ分30%、鉄分16.8%、苦土3.5%)	100kg
シリカロマン	土づくりに必要な成分を一度に施用できる複合資材(ケイ酸25%、アルカリ分45%、鉄分5%、苦土7%、リン酸5%)	100kg

ポイント2：有機物の施用

堆肥や発酵鶏糞の施用で地力を高めましょう。

堆肥の施用	秋施用の場合	春施用の場合
牛ふん堆肥	2 t	2 t
豚ふん堆肥	1 t	0.5~1 t
発酵鶏糞	150kg	100kg

- ・堆肥を散布した場合は、速やかに耕起作業を行いましょう。
- ・コシヒカリで春施用の場合は、基肥チッソを1~2kg減肥して下さい。
(基肥206では10~15kg/10a、有機Jコートソシカリ3号では5~10kg/10aの減肥)



ポイント3：深耕の実施

作土層が浅いと、根が十分に伸長できなくなり、気温や水分変化の影響を受けやすくなります。秋耕と春耕の2回掛けにより、作土深15cm以上を確保しましょう。

○作土深15cmを確保するための方法

- ・トラクタの速度を落とすとともに、ロータリーの回転数も落として深耕しましょう。

○秋耕で稲わらの腐熟促進

- ・秋耕後は排水溝を設け、田を乾かし、稲わらを腐熟させましょう。



秋の土づくり運動実施中 9月15日~11月15日